事業所名	池田市立児童発達支援センターやまばと学園	**支援プログラム**	作成日	令和8 年	7 月	1 日

法人（事業所）理念	支援が必要な子どもやその家族が安心感を抱き、主体性を持って生活を送ることができるように、多職種連携のもと、療育、訓練、相談を提供します。			
支援方針	・乳幼児期の親子関係と愛着形成を大切にし、親子で関わって遊び合うことができるよう支援します。 ・一人一人の子どもの発達状況や興味に合わせた関わりと遊びを提供します。 ・親子通園や相談等を通して、保護者の子どもへの理解を援助していきます。 ・複数の専門職がチームとなり、子どもの成長発達を長期的に見守っていきます。 ・子どもの思いを汲み取り、安心感や人への信頼感をはぐくんでいきます。 ・子どもの自発的な行動や発信につながるよう療育を進めていきます。			
営業時間	9 時 0 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	（あり） なし ＊一部の事業では実施なし	
	週5日通園（3～5歳児）：10時00分から14時15分 週1日通園・週2日通園（1～2歳児）：10時00分から12時00分 親子療育教室（1～2歳児）：13時30分から15時00分	こばと事業：15時30分から16時45分（自閉スペクトラム症・知的発達症） 保育所等訪問支援事業 相談支援事業		
	支 援 内 容			
本人支援 健康・生活	・睡眠等を含めた生活リズムの安定を目指します。 ・排泄、着脱、食事等、日常の生活動作が身につけられるように、繰り返し支援していきます。 ・個々の摂食機能をアセスメントし、子どもの有する機能に合わせた食事形態を提供し、安全に自発的に喫食できるよう支援します。 ・自発的な行動に結びつくように、視覚的に分かりやすい環境や情報を提供します。			
本人支援 運動・感覚	・生活や遊びを通して、姿勢保持、体や手指の使い方の向上につながるように支援します。 ・感覚特性について、個別にアセスメントし、個別のプログラムをもとに、感覚の充足につながるような訓練と遊びを提供します。 ・外遊びや定期的な体操教室の実施を通じて、体を使って遊ぶ楽しさを十分経験できるよう支援します。			
本人支援 認知・行動	・日常生活や遊びを通して、周囲の事物に対する興味や理解できることを増やしていきます。 ・支援者が子どもの行動の意味を理解することで、状況に合わせた適切な行動を学べるように支援します。 ・発達検査および行動観察を実施し、子どもの認知と行動の状況をアセスメントします。			
本人支援 言語コミュニケーション	・子どもの自発的な発信を丁寧に受け止め、人とコミュニケーションすることの楽しさが十分に味わえるように関わります。 ・大人と関わって遊び合うことで、伝えたい気持ちを育てます。 ・適切な要求、援助要求、拒否等の表現を身につけられるように支援します。 ・コミュニケーション能力について個別にアセスメントし、個別のプログラムをもとに、楽しくコミュニケーションできるような訓練と遊びを提供します。			
本人支援 人間関係社会性	・大人との1対1の関わりを通して、人や外界への意識と安心感を育てます。 ・好きな遊びを通して、楽しく人と関わる経験を積み重ねられるように関わります。 ・大人が子どもの気持ちに共感することで、自分の気持ちに気づき、適切に表現できるように支援します。 ・日常繰り返される簡単なルールを大人と一緒に学べるように支援します。			
家族支援	・親子通園を通して、実際の子どもの姿を支援者と見ながら、子どもの特性を理解し、子どもに合った関わり方が学べるように支援します。 ・定期的な個別面談、発達検査、勉強会を実施しています。 ・多職種がチームとなり、家族のニーズや状況に応じた支援を行います。	移行支援	・会議等を通じて地域の園や小学校と連携しています。 ・幼稚園、こども園、保育園、小学校、支援学校等の移行先に対して、丁寧に引継ぎを行い、アフターフォローを行います。	
地域支援・地域連携	・池田市発達支援課、幼児保育課、子ども家庭課、教育委員会、障がい福祉課等と連携しています。 ・池田市の各関係機関、発達支援事業所、相談支援事業所との会議に参加し、連携しています。 ・必要に応じて医療機関と連携したり、情報を共有したりします。	職員の質の向上	・外部研修に積極的に参加しています。 ・園内で定期的に事例検討会や専門職とのカンファレンス、勉強会、各種研修（人権・虐待防止・感染症症対策等）を実施しています。 ・児童精神科医による定期的な勉強会と事例検討会を実施しています。	
主な行事等	入園紹介式・誕生会・歯科健診・内科健診・音楽遊び教室・運動遊び教室・水遊び・調理保育・栽培と収穫・お楽しみ会・園外保育・人形劇観賞・卒園式			